

E-Welfiss を活用した情報伝達訓練 実施結果

1 実施概要

- (1) 日 時 令和5年7月27日(木) 13時15分～15時00分
- (2) 想定災害 令和5年7月台風
(大型で非常に強く、洪水・土砂災害が発生する恐れ)
- (3) 使用ツール E-Welfiss・防災無線機(電話)

2 訓練参加状況

(1) 福祉施設等

- ・老人福祉施設 84 / 102 施設中
- ・障害福祉施設 14 / 21 施設中
- ・地域支援室 3 / 3 室中

福祉施設等 計101 / 126 施設中

(2) 関係団体・市側部署

- ・関係団体 2 / 3 団体中
- ・各区役所及び支所 9 / 9 部署中
- ・局内各部署(事務局除く) 3 / 3 部署中

関係団体・市側部署 計14 / 15 部署中

合計 115 / 141 施設・部署中

※地域包括支援センター及び相談支援センターはシステムの閲覧のみ実施

3 訓練対応状況

E-Welfiss の対応状況

- ・支援要請 (SOS) 11 件 (対応中 1 は 1 件、対応中 2 は 2 件、対応済みは 3 件)
- ・被害報告 80 件
- ・二次避難所受入可 66 件、ショートステイ受入可 54 件
- ・連絡 (スレッド数) 63 件

The screenshot shows the 'トップ画面' (Top Page) of the E-Welfiss system. At the top, it displays the training title: 【訓練】【7/27実施】令和5年7月台風. Below this, there are several sections:

- 市からのお知らせ** (Notice from the City): A list of recent notices with timestamps and content.
- 支援要請中** (Support Requests in Progress): A summary showing 11 requests in total, broken down by status: 被害あり (12), 被害なし (68), 二次避難所 (4), and ショートステイ (3).
- 支援要請 (SOS)** (Support Requests (SOS)): A section with a warning that 119 requests are not yet active.
- 機能メニュー** (Function Menu): A grid of icons for various features: 支援要請 (Support Requests), 被害報告 (Victim Reports), 二次避難所・ショートステイ (Secondary Evacuation/Short Stay), 連絡 (Contact), 地図情報 (Map Information), and その他 業務メニュー (Other Business Menu).

The screenshot shows the '連絡機能画面' (Contact Function Screen) of the E-Welfiss system. It features a search bar at the top and a list of communication threads (スレッド) below. The threads are organized by status and include details such as the sender, recipient, subject, and timestamps.

ステータス	連絡ID	作成日時	更新日時
【至急】【指示・要請】	0029-00	2023/07/27 14:14:29	2023/07/27 14:14:29
【至急】【指示・要請】	0024-00	2023/07/27 14:04:01	2023/07/27 14:11:49
【連絡】	0028-00	2023/07/27 14:09:58	2023/07/27 14:09:58
【至急】【指示・要請】	0022-00	2023/07/27 13:59:49	2023/07/27 14:08:50

4 まとめ

- ・E-Welfiss の操作は比較的円滑に行えているが、事前の操作練習やマニュアル確認を行うことにより、操作習熟度の更なる向上が見込まれる。今後も定期的な訓練を実施する。

- ・各施設間で積極的に連絡のやりとりを行うなど、各施設間の相互支援における E-Welfiss の有用性が確認できた。

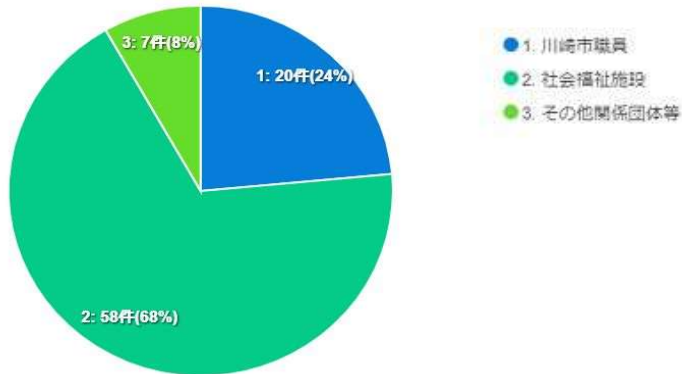
令和5年7月27日（木）実施 E-Welfissを活用した情報伝達訓練 アンケート結果

※記述式項目に記載いただいた内容は、一部を抜粋・集約してまとめています。

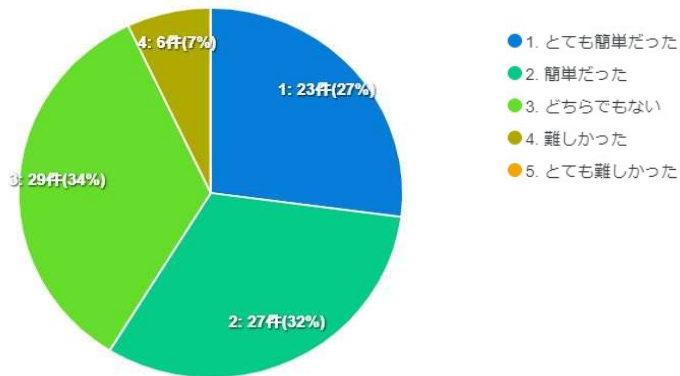
アンケート実施期間 7月27日（木）～8月4日（金）

アンケート回答数 85件

Q2. 参加者の区分（アンケート回答者の区分）



Q3. フェーズ1の操作・対応等について、難易度はいかがでしたか？



どのような点が難しいと感じましたか？

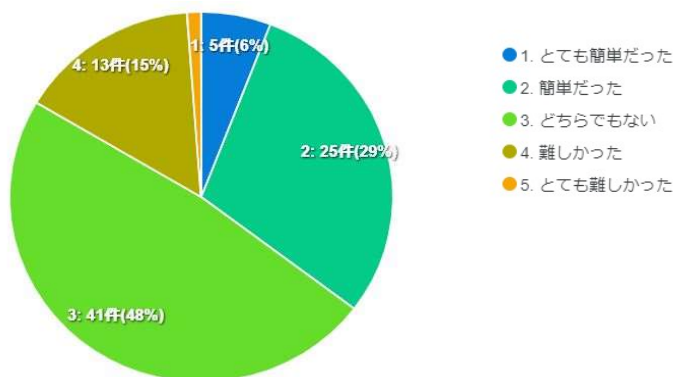
【川崎市職員】

- ・システムに慣れていないため、各施設への連絡に時間がかかってしまった。
- ・どの施設にどのような内容で連絡すればよいか分からず、判断に迷ってしまった。

【社会福祉施設】

- ・ログインまでの流れが分からなかった。

Q 4. フェーズ2の操作・対応等について、難易度はいかがでしたか？



どのような点が難しいと感じましたか？

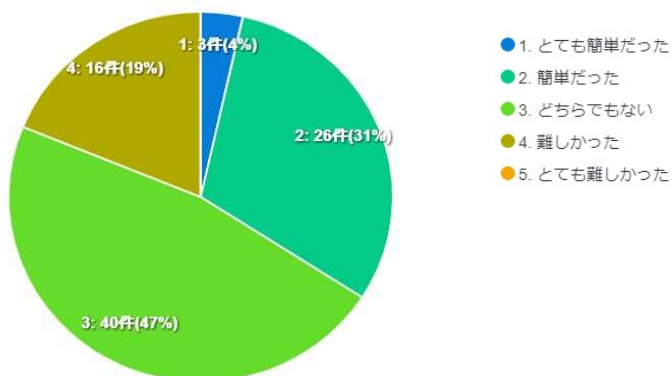
【川崎市職員】

- ・連絡体制未確立施設への連絡等について、無線や電話での連絡に工夫が必要だった。
- ・緊急ショートステイの受入調整について、医療等の個別事項を考慮した優先順位付けが難しかった。
- ・多くの連絡が入ってくるため、必要な情報を探するのに苦労した。

【社会福祉施設】

- ・「支援要請（SOS）」を行ったが、市や他施設からの問い合わせについての対応まで考えておらず、返答ができなかった。
- ・ショートステイ受入可否など、システムの入力箇所がよく分からなかった。

Q 5. フェーズ3の操作・対応等について、難易度はいかがでしたか？



どのような点が難しいと感じましたか？

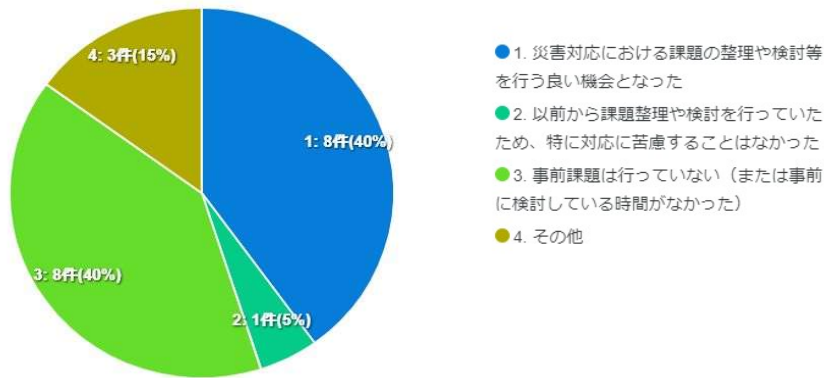
【川崎市職員】

- ・「支援要請（SOS）」が入力された施設への対応・応援等の調整について、判断に悩むことが多かった。
- ・同時に多くの情報があり、解読に時間がかかった。

【社会福祉施設】

- ・二次避難所開設可否の入力で、受入可能な対象像の入力に手間取った。対象像も選択式だと入力しやすいと感じた。
- ・入力にあたり確認しなければならない項目が多く手間取った。
- ・連絡機能で送付された添付資料が隠れており、探するのに苦労した。

Q 6. 各所属における事前課題への取組みについて、もっとも近いと思うものを選択してください。
(市職員限定のアンケート項目)



その他の詳細

【川崎市職員】

・事前課題の検討はしたものの、いざ入力をする段になって、実際どのように入力し、回答すれば良いのか悩み、処理が遅れた。

Q 7. 訓練全体を通して、気が付いた点や感想などがあれば入力してください。

【川崎市職員】

・今回はE-Welfissが利用可能な施設だけの訓練だったが、実際はシステムが使えず電話等でのやり取りになる施設の情報が集約しなくてはならず、調整は難航しそうだと感じた。
 ・連絡メッセージを確認する際、断続的に更新が行われるため、確認しずらさ・ストレスを感じた。
 ・シナリオの読み込みや事前課題への準備が不足していた。次回以降に活かしたい。
 ・緊急の入所調整や移送対応など、実際の現場では調整に苦労すると思った。特に障害関係（精神含む）の施設が少ないことに危機感を感じたため、調整していく必要性も感じた。
 ・実際の災害発生時には、少ない人数で対応せざるを得ない状況下で迅速な対応を求められるため、訓練のようなスムーズな対応ができなくなることも想定される。何度か今回のような訓練を実施する必要性があると強く感じた。
 ・災害対応を行う職員全員がシステムを操作できるように繰り返しの研修や訓練が必要と感じた。

【社会福祉施設】

・「お知らせ」の部分に文面で指示が来るのは分かりやすかった。逆に、「連絡」でのやりとりは少し分かりづらい面があった。
 ・事前に操作練習を実施したおかげで、訓練当日は問題なく操作を実施することができた。
 ・連絡機能が分かりづらい。「了解」や「完了」でメッセージが埋もれていき、確認しづらかった。
 ・川崎市全体の情報を見られるのはありがたいが、情報量が多すぎて自施設へのメッセージを見過ぎてしまいそうだと感じた。
 ・緊急ショートステイや二次避難所の受け入れにあたって、本当に被災した時はリスト化されたものではなく、必要に応じて受入可能先の確認が都度あるかと思うが、その場合、誰かが常にE-WELFISSを見ていないと新着のメッセージにすぐに対応する事は難しく、被災時に1人常駐で人員を割くのは簡単では無い様に感じる。新着メッセージを受け取った際に、ポップアップと共に音が出ると気付きやすいと思った。
 ・市内全体の状況を把握すると同時に、必要な支援等が確認できることは大変にありがたいことだと感じている。大災害発生時にリアルタイムに発信と受信ができることが利用者の生活を守り、不安を解消してくれるものだと思う。
 ・他の事業所や地域の様子がわかり、自分たちだけでなく地域でつながっていることを実感した。
 ・連絡機能の画面が小さく、見づらかった。また、添付ファイルを見つけることに苦労した。
 ・支援要請について、すでに対応が完了していても、連絡機能等で要請に応える連絡が続いたり、連絡が情報に埋もれ気付かないこともあるのではと感じた。
 ・システム操作が分かる人物が異動してしまうこともあるため、今回のように定期的に訓練を行ってもらうとありがたい。